

取扱説明書

スーパーコンパクトシリンダ
(コイルスクレーパ形:G1)
(スパッタ付着防止形:G4)

SSD-G1、G4
SSD-KG1、KG4 シリーズ

- 製品をお使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
- 特に安全に関する記述は、注意深くお読みください。
- この取扱説明書は必要な時にすぐ取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

本製品を安全にご使用いただくために

本製品を安全にご使用いただくためには材料、配管、電気、機構などを含めた空気圧機器に関する基礎的な知識（日本工業規格 J I S B 8 3 7 0 空気圧システム通則に準じたレベル）を必要とします。

知識を持たない人や誤った取扱いが原因で引き起こされた事故に関して、当社は責任を負いかねます。

お客様によって使用される用途は多岐にわたるため、当社ではそれらを把握することができません。ご使用条件によっては、性能が発揮できない場合や事故につながる場合がありますので、お客様が用途、用法に合わせて製品の仕様の確認および使用法をよく理解してから決定してください。

本製品には、さまざまな安全策を実施していますが、お客様の誤った取扱いによって、事故につながる場合があります。そのようなことがないためにも、**必ず取扱説明書を熟読し内容を十分にご理解いただいたうえでご使用ください。**

本文中に記載してある取り扱い注意事項とあわせて下記項目についてもご注意ください。



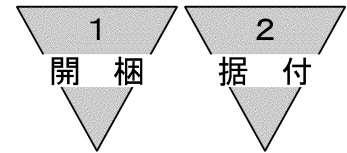
注意：

- アクチュエータの分解点検時には必ず残圧を排出し、確認後作業してください。
- アクチュエータ駆動時にはアクチュエータの駆動内に入ったり、手を入れたりしないでください。
- 電磁弁付アクチュエータ、スイッチ付アクチュエータなどの電気配線接続部（裸充電部）に触れると感電する恐れがあります。分解点検時には必ず電源を切ってから作業してください。また、濡れた手で充電部を触らないでください。

目 次

SSD-G1、G4
SSD-KG1、KG4 シリーズ
スーパーコンパクトシリンダ
コイルスクレーパ、スパッタ付着防止形
取扱説明書No. SM-419849

1. 開梱	3
2. 据付けに関する事項	
2.1 据付けについて	3
2.2 配管について	3
2.3 使用流体について	5
2.4 スイッチ取付けについて	5
3. 使用方法	
3.1 シリンダの使用方法について	7
3.2 スイッチの使用方法について	7
4. 保守に関する事項	
4.1 定期点検	10
4.2 分解	10
4.3 組立	10
4.4 内部構造および消耗部品リスト	11
5. 故障と対策	15
6. 形番表示方法	
6.1 製品形番表示方法	16
6.2 部品形番表示方法	17
7. 製品仕様	
7.1 製品仕様	18
7.2 スイッチ仕様	19



1. 開梱

- 1) ご注文の製品形番と製品銘板のMODEL欄の形番が同一であることを確認してください。
- 2) 外観に損傷を受けていないか確認してください。
- 3) 配管ポートからシリンダ内部に異物が入らないようにシール栓を付けて保管ください。
シール栓は配管時に取り外してください。

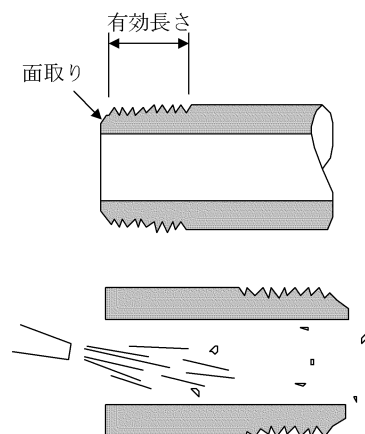
2. 据付け

2.1 据付けについて

- 1) 当シリンダの使用できる周囲温度は-10～60℃です。
この温度範囲内でご使用ください。
- 2) 取付けはシリンダ本体を六角穴付ボルトにて、直接取付けてください。
- 3) ロッド先端ねじはめねじタイプとおねじタイプがあります。用途に合わせてご使用ください。
- 4) ピストンロッドに横荷重が、かからないようガイドを設けてください。
(例) ストップとしての横荷重はかけないでください。

2.2 配管について

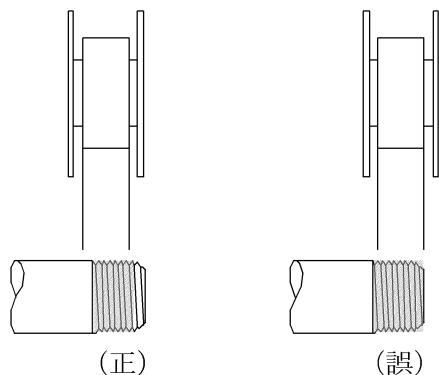
- 1) フィルタ以降の配管材は亜鉛メッキ管・ナイロンチューブ・ゴム管など、腐食しにくいものをご使用ください。
- 2) シリンダと電磁弁をつなぐ配管は、シリンダが所定のピストン速度が出るだけの有効断面積があるものをご使用ください。
- 3) 管内のさび・異物・およびドレン除去のためフィルタはできるだけ電磁弁の近くに取り付けてください。
- 4) ガス管のねじ長さは有効ねじ長さを守ってください。
また、ねじ部先端より1/2ピッチほど面取り仕上げしてください。



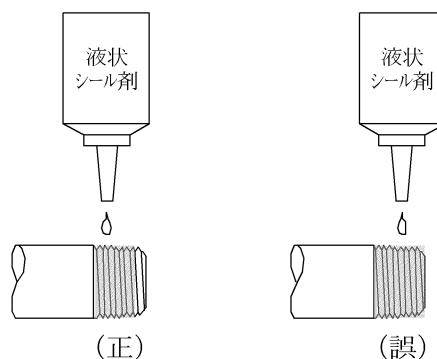
- 5) 配管前に管内の異物・切粉等を除去のため、管内のフラッシング(エア吹き)をしてください。

- 6) 配管にはシールテープ又はシール剤をしますが、ねじ先端から2山程控えて使用し、管内や機器内部にテープ屑やシール剤の残材が入りこまないように気を付けてください。

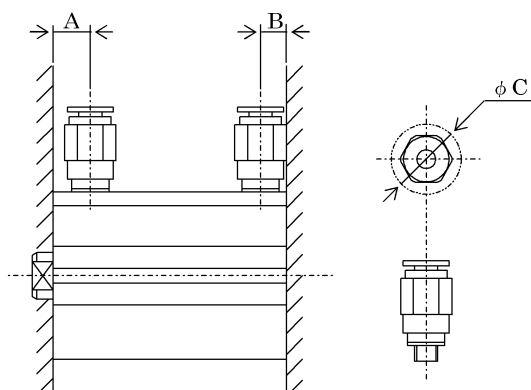
● シールテープ



● 液状シール剤



- 7) 使用できる配管継手に制限がありますので下記参照しご使用ください。

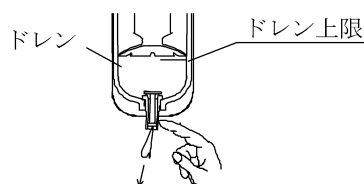
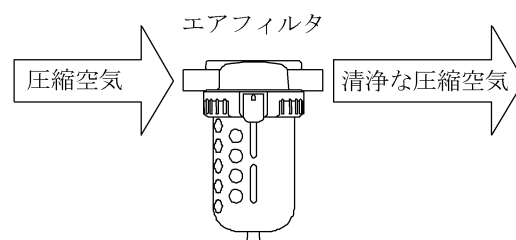


項目	ポート径	ポート位置寸法		使用できる継手	継手外径	使用できない継手
チューブ内径(mm)		A	B		φ C	
φ 25	M5×0.8	11	6(11)	SC3W-M5-4, SC3W-M5-6 GWS4-M5-S, GWS4-M5 GWL4-M5, GWL6-M5	φ 11 以下	GWS6-M5
φ 32	Rc1/8	8	8(8)	SC3W-6-4・6・8 GWS4-6, GWS6-6, GWS8-6 GWL4-6, GWL6-6	φ 15 以下	GWS10-6 GWL8-6 GWL10-6
φ 40		12	8.5(12)			
φ 50	Rc1/4	10.5	10.5(10.5)	SC3W-8-6・8・10 GWS4-8, GWS6-8, GWS10-8 GWL4~12-8	φ 21 以下	GWS-12-8
φ 63		13	11(13)			
φ 80	Rc3/8	16	13(16)	SC3W-10-6・8・10 GWS6-10, GWS8-10, GWS10-10 GWL6~12-10		—
φ 100		23	15(23)			

注: φ 25～φ 50:150ストローク、φ 63～φ 100:200ストロークを超える時のB寸法は()内の値となります。

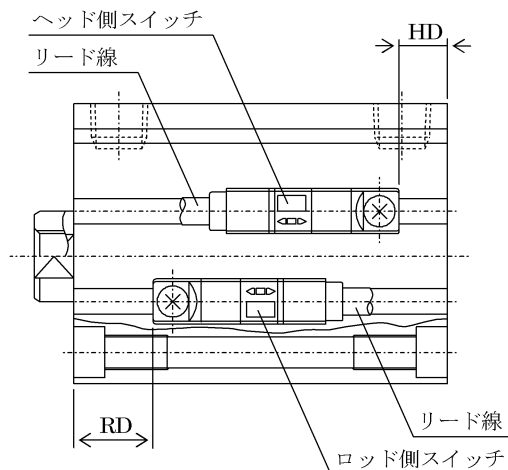
2.3 使用流体について

- 1) 使用する圧縮空気はエアフィルタを通した清浄で水分のないエアを使用してください。このため、空気圧回路にエアフィルタを使用し、ろ過度（ $5\mu\text{m}$ 以下が望ましい）・流量・取付位置（方向制御弁に近付ける）などに注意してください。
- 2) フィルタに溜まったドレンは指定ラインを越える前に、定期的に排出してください。
- 3) コンプレッサオイルの炭化物（カーボンまたはタール状物質）が回路上に混入すると、電磁弁やシリンダが作動不良をおこします。コンプレッサの保守・点検には十分注意してください。
- 4) 当シリンダは無給油使用ができます。給油される場合は、タービン油1種ISOVG32をご使用ください。



2.4 スイッチ取付けについて

- 1) スイッチの取付位置について
 - (1) ストロークエンド取付時
スイッチを最高感度位置で作動させるためにロッド側RD寸法、ヘッド側HD寸法の箇所に各々、取付けてください。
 - (2) 中間位置取付時
ストローク途中でピストンが停止する場合は、停止する位置にピストンを固定しスイッチをピストンの上を前後に移動させ、各々スイッチが最初にONする位置を見つけ出します。その2つの位置の間がそのピストン位置での最高感度位置であり、取付位置となります。
 - (3) スイッチ移動方法
締付ねじ（なべ小ねじ）をゆるめスイッチ溝に沿ってスイッチ本体を移動させ、所定の位置で締付けてください。
 - (4) スイッチ交換方法
締付ねじ（なべ小ねじ）をゆるめスイッチ本体を溝より抜きます。次に交換用スイッチを溝の中へ入れ所定の位置を決めねじを固定します。（止めねじの締付トルクは、 $0.5\sim 0.7\text{N}\cdot\text{m}$ にしてください。）



2) 動作範囲

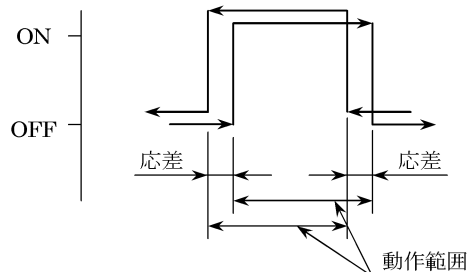
ピストンが移動して、スイッチがONし、さらに同一方向に移動しOFFするまでの範囲をいいます。

動作範囲の中心は最高感度位置です。この位置をピストン停止位置にセットしますと、外乱を受けにくく、スイッチ動作が安定します。

3) 応差

(1) ピストンが移動して、スイッチONした位置から、逆方向に移動して、OFFするまでの距離です。

(2) この間へピストンが停止するとスイッチの動作は不安定となり、外乱の影響を受けやすい状態となります。



最高感度位置 (HD, RD)、動作範囲、応差

(単位: mm)

項目		T2YD / T2YDT						
		SSD-G1L, G4L			SSD-KG1L, KG4L			
チューブ内径 (mm)	最高感度位置		動作範囲	応差	最高感度位置		動作範囲	応差
	HD	RD			HD	RD		
φ 25	2.0	20.0	4.5～8	1.0 以下	4.5(13)	22.5(27.5)	4.5～8	1.0 以下
φ 32	4.5	20.5			9.5(17)	25.5(25.5)		
φ 40	8.0	23.5	5～8.5		10.5(20)	31(31)	5～8.5	
φ 50	9.0		5.5～9.5		11.5(20.5)	31(36)	5.5～9.5	
φ 63	13.0	24.0			18(23.5)	29(34)		
φ 80	19.0	26.5	6～10		24(29.5)	31.5(36.5)	6～10	
φ 100	24.5	30.5			29.5(35)	35.5(40.5)		

※ 工場出荷時のスイッチ取付位置は最高感度位置 (HD, RD) に取付けて出荷いたします。

注 1: 5 ストローク時の HD, RD 寸法は都度設定により本寸法とは異なります。

注 2: φ25~φ50: 150 ストローク、φ63~φ100: 200 ストロークを超える時の HD, RD 寸法は()内の値となります。

3. 使用方法

3. 1 シリンダの使用方法について

- 1) シリンダへの供給圧力は製品仕様欄に記載のとおりです。この圧力範囲内でご使用ください。
- 2) クッションなしのため運動エネルギーは吸収できません。
運動エネルギーが大きい場合は外部ストッパを設けてください。
- 3) ピストン速度はスピードコントローラを取り付けて、速度調整を行ってください。

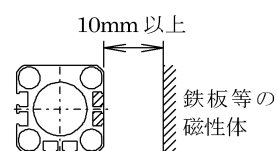
3. 2 スwitchの使用法について

3. 2. 1 共通事項

- 1) 磁気環境
スイッチ付シリンダを近接させて並列に取付ける場合や、シリンダのごく近くを磁性体が移動する場合には相互に干渉しあい、検出精度に影響が出ることがあります。
- 2) リード線の保護
リード線にくり返し曲げ応力および引張力がかからないよう、配線上ご配慮ください。
可動部には、ロボット用電線等の耐屈曲性のよいものを接続してご使用ください。
- 3) 使用温度
高温(60℃を越える場合)での使用はできません。
磁気部品、電子部品の温度特性により高温環境での使用は避けてください。

4) 中間位置検出

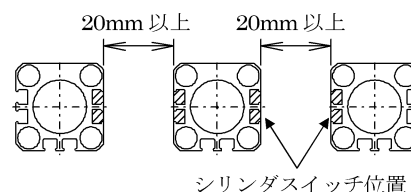
- ストロークの途中でスイッチを作動させる場合、ピストン速度が速すぎるとリレーが応答しなくなりますので注意してください。
(例) リレーの動作時間20msの場合、ピストン速度は500mm/s以下で使用してください。



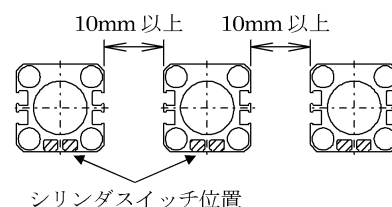
5) 衝撃について

- シリンダ運搬およびスイッチの取付・調整の際には、大きな振動や衝撃を与えないでください。

- 6) シリンダスイッチの近くに鉄板等の磁性体がある場合、シリンダスイッチの誤動作の原因となりますのでシリンダ表面から10mm以上距離をとってください。(全口径同一)



- 7) シリンダが隣接する場合、シリンダスイッチの誤動作の原因となりますのでシリンダ表面から右記距離をとってください。(全口径同一)



3. 2. 2 無接点スイッチ (T2YD, T2YDT) の留意事項

1) リード線の接続

リード線の色分けに従って正しく接続してください。このとき必ず接続側電気回路の装置の電源を切って作業を行ってください。

誤配線・負荷の短絡をしますと、スイッチばかりでなく、負荷側電気回路の破損につながります。また、通電しながらの作業は、誤配線がなくとも、作業手順によっては、スイッチ負荷電気回路の破損につながる場合があります。

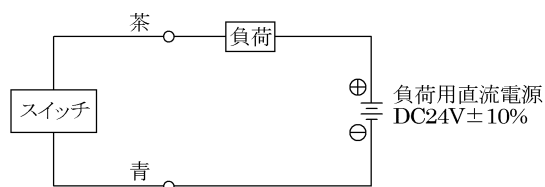


図1 T2YD(T)基本回路例

2) 出力回路保護

リード線配線長さが10mを越える場合は、図2、3 (T2TD(T)の場合) に示す保護回路を必ず設けてください。

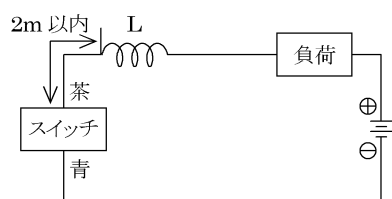


図2・チョークコイル

L =数百 μ H ~ 数 mH

高周波特性にすぐれたもの

・スイッチの近くで配線する(2m 以内)

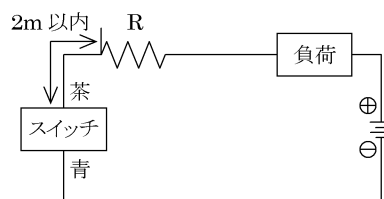


図3・突入電流制限抵抗

R =負荷側回路が許す限り大きな抵抗

・スイッチの近くで配線する(2m 以内)

3) プログラマブルコントローラ(シーケンサ)への接続

プログラマブルコントローラの形式により、接続方法が異なります。図4～図6による接続をお願いします。

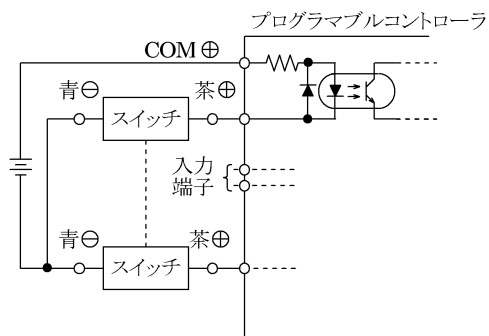


図4 ソース入力(電源外付)形への T2YD(T)接続例

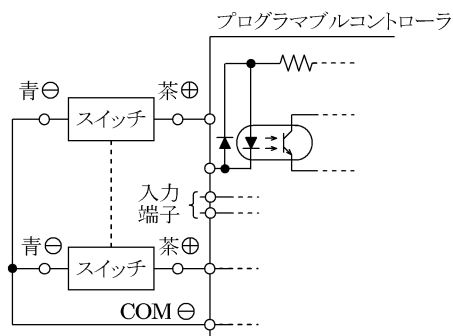


図5 ソース入力(電源内蔵)形への T2YD(T)接続例

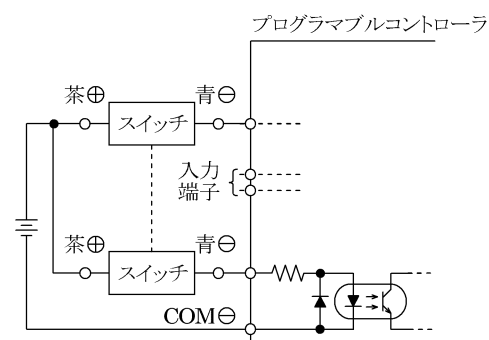


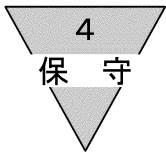
図6 シンク入力形への T2YD(T)接続例

4) 並列接続

T2YD(T)スイッチは、漏れ電流が接続個数分増加しますので、接続負荷であるプログラマブルコントローラの入力仕様を確認の上、接続個数を決めてください。但し、表示灯が暗くなったり、点灯しない場合があります。

5) 直列接続

T2YD(T)スイッチを複数直列に接続して使用する場合、スイッチでの電圧降下は、接続したすべてのスイッチの電圧降下の和となります。負荷側にかかる電圧は、電源電圧からスイッチまでの電圧降下分を差し引いたものとなりますので、負荷の仕様をご確認の上、接続個数を決めてください。表示灯はすべてのスイッチがONした時のみ点灯となります。



4. 保守に関する事項

4. 1 定期点検

- 1) シリンダを最適状態でご使用いただくために、1～2回/年の定期点検を行ってください。
- 2) 点検項目
 - (1) ピストンロッド先端金具・支持金具取付用ボルトおよびナット類のゆるみ。
 - (2) 作動状態がスムーズであるかどうか。
 - (3) ピストン速度・サイクルタイムの変化。
 - (4) 外部および内部漏れ
 - (5) ピストンロッドの傷および変形。
 - (6) ストロークに異常がないかどうか。

以上の箇所を確認し、異常があれば ”5. 故障と対策” をご参照ください。尚、ゆるみがあれば増し締めしてください。

4. 2 分解

- 1) 当シリンダは分解ができます。

空気漏れ等不具合が発生した時は内部構造図を参考にして分解し、消耗部品リストの部品を交換してください。なお、G4シリーズは悪環境下での延命を目的としたものです。メンテナンスをして使用するものではない考えから、パッキンキットはご用意しておりません。
- 2) 分解はC形止め輪をはずし、ピストンロッドとロッドメタルを取り外してください。

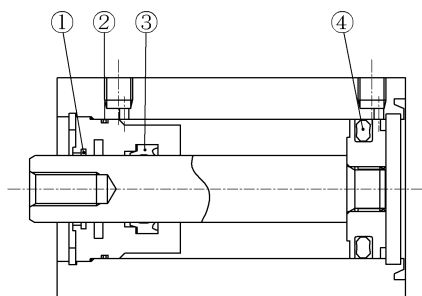
4. 3 組立

- 1) 各部品を清掃する。
- 2) 清掃後、分解と逆手順にて注意深く組立てる。

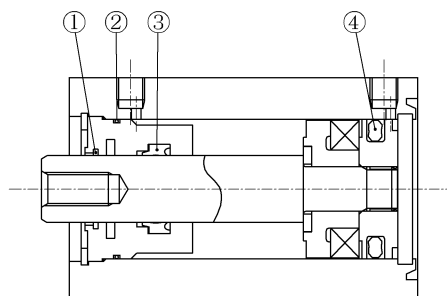
特にパッキン類に傷がつくと作動不良および空気漏れの原因になります。
- 3) シリンダチューブ内面、ピストン外径面およびパッキン類には上質のグリース (リチウム石鹸基グリース) を塗布してください。

4. 4 内部構造および消耗部品リスト

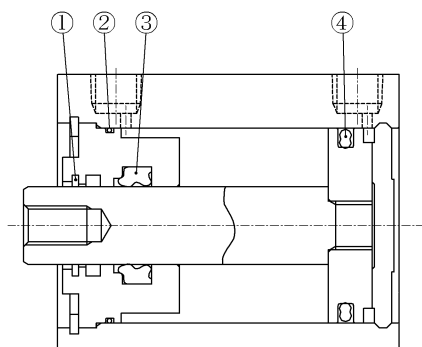
- SSD - G1/G4 - $\phi 25$
(複動・スパッタ付着防止形)



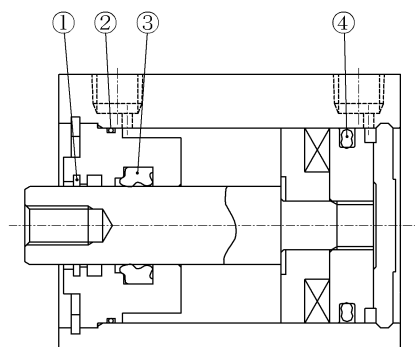
- SSD - G1L/G4L - $\phi 25$
(複動・スパッタ付着防止形・スイッチ付)



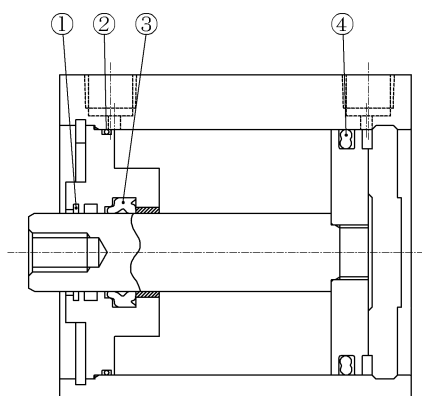
- SSD - G1/G4 - $\phi 32 \sim \phi 50$
(複動・スパッタ付着防止形)



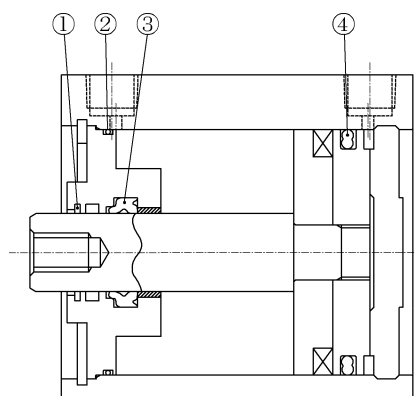
- SSD - G1L/G4L - $\phi 32 \sim \phi 50$
(複動・スパッタ付着防止形・スイッチ付)

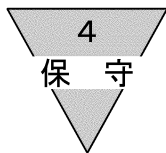


- SSD - G1/G4 - $\phi 63 \sim \phi 100$
(複動・スパッタ付着防止形)



- SSD - G1L/G4L - $\phi 63 \sim \phi 100$
(複動・スパッタ付着防止形・スイッチ付)

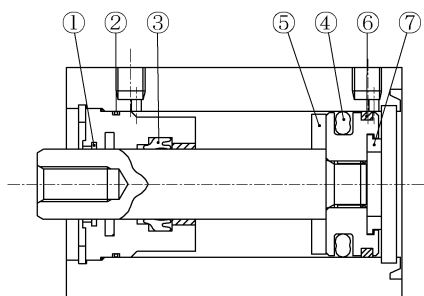




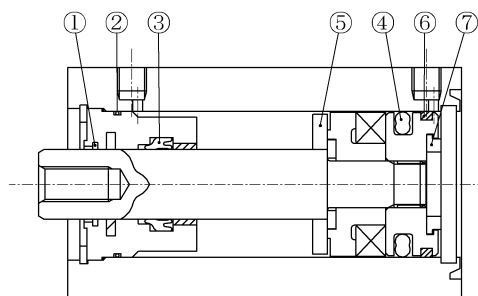
消耗部品リスト（ご注文の際はキット番号をご指定ください。）

部品番号		①	②	③	④
チューブ内径 (mm)	部品名 キット番号	コイルスクレーパ	ロッドメタル ガスケット	ロッドパッキン	ピストンパッキン
φ 25	SSD-G1-25K	MDH-12	F3-657969	MYR-12	PSD-25
φ 32	SSD-G1-32K	MDH-16	F3-657975	MYR-16	PSD-32
φ 40	SSD-G1-40K	MDH-16	F3-657976	F4-428463	PSD-40
φ 50	SSD-G1-50K	MDH-20	F3-657977	F4-428464	PSD-50
φ 63	SSD-G1-63K	MDH-20	AS568-035	F4-428464	PSD-63
φ 80	SSD-G1-80K	MDH-25	AS568-041	F4-428465	PSD-80
φ 100	SSD-G1-100K	MDH-30	AS568-044	F4-428466	PSD-100

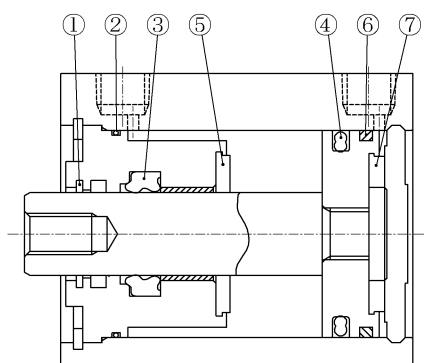
- SSD - KG1/KG4 - $\phi 25$
(複動・高荷重・スパッタ付着防止形)



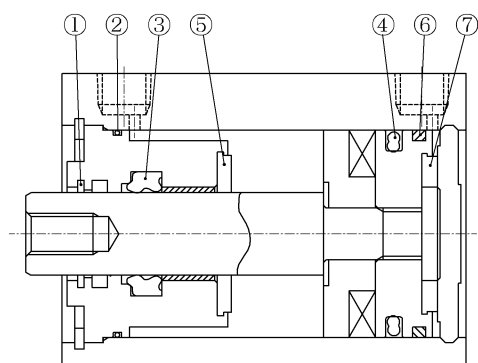
- SSD - KG1L/KG4L - $\phi 25$
(複動・高荷重・スパッタ付着防止形・スイッチ付)



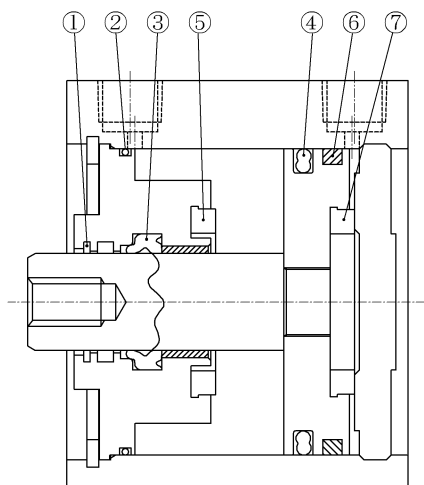
- SSD - KG1/KG4 - $\phi 32 \sim \phi 50$
(複動・高荷重・スパッタ付着防止形)



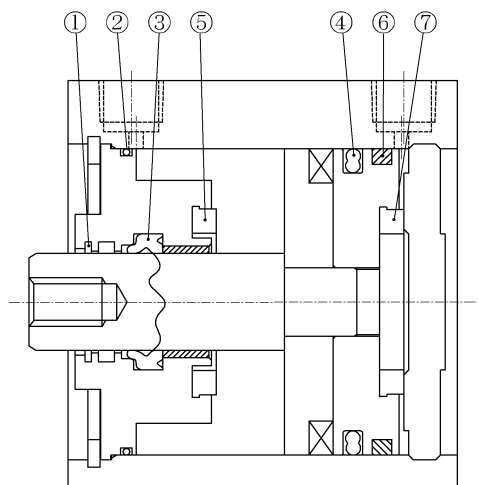
- SSD - KG1L/KG4L - $\phi 32 \sim \phi 50$
(複動・高荷重・スパッタ付着防止形・スイッチ付)

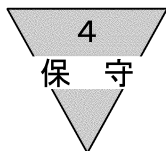


- SSD - KG1/KG4 - $\phi 63 \sim \phi 100$
(複動・高荷重・スパッタ付着防止形)



- SSD - KG1L/KG4L - $\phi 63 \sim \phi 100$
(複動・高荷重・スパッタ付着防止形・スイッチ付)





消耗部品リスト（ご注文の際はキット番号をご指定ください。）

部品番号		①	②	③	④
チューブ内径 (mm)	部品名 キット番号	コイルスクレーパ	ロッドメタル ガスケット	ロッドパッキン	ピストンパッキン
φ 25	SSD-KG1-25K	MDH-12	F3-657969	MYR-12	PSD-25
φ 32	SSD-KG1-32K	MDH-16	F3-657975	MYR-16	PSD-32
φ 40	SSD-KG1-40K	MDH-16	F3-657976	F4-428463	PSD-40
φ 50	SSD-KG1-50K	MDH-20	F3-657977	F4-428464	PSD-50
φ 63	SSD-KG1-63K	MDH-20	AS568-035	F4-428464	PSD-63
φ 80	SSD-KG1-80K	MDH-25	AS568-041	F4-428465	PSD-80
φ 100	SSD-KG1-100K	MDH-30	AS568-044	F4-428466	PSD-100

部品番号		⑤	⑥	⑦
チューブ内径 (mm)	部品名 キット番号	クッションゴム (R)	ウェアリング	クッションゴム (H)
φ 25	SSD-KG1-25K	F4-116103	F4-161716	F4-659113
φ 32	SSD-KG1-32K	F4-659049	F4-654960	F4-659049
φ 40	SSD-KG1-40K	F4-659039	F4-650239	F4-659039
φ 50	SSD-KG1-50K	F4-659026	F4-650240	F4-659026
φ 63	SSD-KG1-63K	F4-659069	F4-650241	F4-659069
φ 80	SSD-KG1-80K	F4-162661	F4-650242	F4-162661
φ 100	SSD-KG1-100K	F4-659630	F4-650243	F4-659630

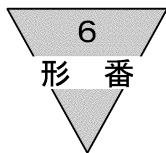
5. 故障と対策

1) シリンダ部

不具合現象	原因	対策
作動しない	圧力がない、圧力不足	圧力源の確保
	方向制御弁に信号が入っていない	制御回路の修正
	取付けの心が出ていない	取付状態の修正 取付形式の変更
	ピストンパッキンの破損	パッキンの交換
スムーズに作動しない	使用ピストン速度以下の速度	負荷変動の緩和
	取付けの心が出ていない	取付状態の修正 取付形式の変更
	横荷重がかかる	ガイドを設ける 取付状態の修正 取付形式の変更
	負荷が大きい	圧力をあげる チューブ内径をあげる
	速度制御弁がメータイン回路になっている	速度制御弁をメータアウト回路に変える
破損・変形	高速作動による衝撃力	速度を遅くする 負荷を軽くする クッション機構のより確実なものを設ける (外部クッション機構)
	横荷重がかかる	ガイドを設ける 取付状態の修正 取付形式の変更

2) スイッチ部

不具合現象	原因	対策
表示灯が点滅しない	接点の溶着	スイッチの交換
	負荷の定格オーバー	推奨リレーに交換またはスイッチの交換
	表示灯の破損	スイッチの交換
	外部信号不良	外部回路の再確認
スイッチが作動しない	断線	スイッチの交換
	外部信号不良	外部回路の再確認
	電圧違い	指示電圧にする
	取付位置の違い	正常な位置にする
	取付位置のずれ	ずれを修正し、増締めする
	スイッチの向きが逆	正常な向きにする
	ストローク途中の検出時に負荷(リレー)が応答できない。	速度を遅くする。 推奨リレーに交換
	負荷の定格オーバー	推奨リレーに交換またはスイッチの交換
スイッチが復帰しない	ピストンが移動していない	ピストンを移動させる
	接点の溶着	スイッチの交換
	リレーの定格オーバー	推奨リレーに交換またはスイッチの交換
	周囲温度が仕様範囲外	-10～60℃の範囲にする
	近くに磁場がある	磁気シールドをする
	外部信号不良	外部回路の再確認

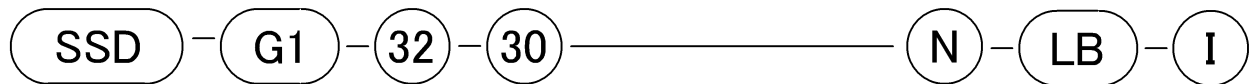


6. 形番表示方法

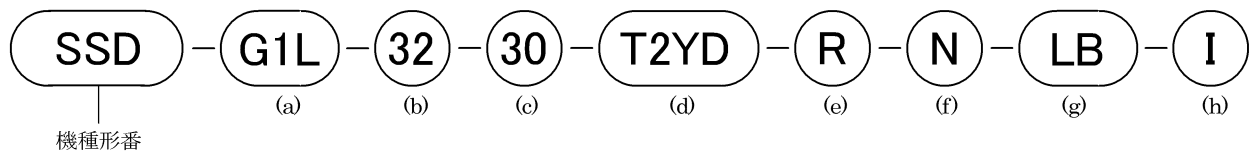
6.1 製品形番表示方法

(1) 複動・コイルスクレーパ形:G1, スパッタ付着防止形:G4

● スイッチなし



● スイッチ付き



(a) 保護構造レベル		(b) チューブ内径 (mm)		(c) ストローク (mm)	
G1	コイルスクレーパ形	25	φ 25	φ 25～φ 50	φ 63～φ 100
G4	スパッタ付着防止形	32	φ 32	5	5
G1L	コイルスクレーパ形・スイッチ付	40	φ 40	10	10
G4L	スパッタ付着防止形・スイッチ付	50	φ 50	15	20
		63	φ 63	20	30
		80	φ 80	25	40
		100	φ 100	30	50
				40	
				50	

(d) スイッチ形番				(e) スイッチ数		(f) オプション	
リード線 ストレートタイプ	接点	表示	リード線	R	ロッド側1個付	無記号	ロッド先端めねじ
				H	ヘッド側1個付	N	ロッド先端おねじ
T2YD※	無接点	強磁界用スイッチ	2線	D	2個付		
T2YDT※							

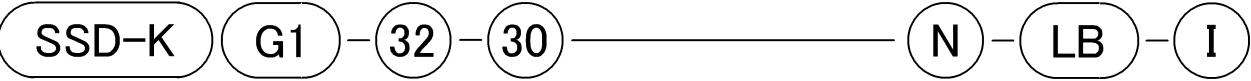
※印はリード線の長さを表します。

(g) 支持金具		(h) 付属品 (ロッド先端おねじ“N”を選定した場合に可)	
LB	軸方向フート	I	一山ナックル
LB2	軸方向フート (小型タイプ)	I2	一山ナックル (小型タイプ)
CB	二山クレビス (ピンと止め輪添付)	Y	二山ナックル (ピンと止め輪添付)
CB2	二山クレビス (小型タイプ) (ピンと止め輪添付)	Y2	二山ナックル (小型タイプ) (ピンと止め輪添付)
FA	ロッド側フランジ形		
FB	ヘッド側フランジ形		

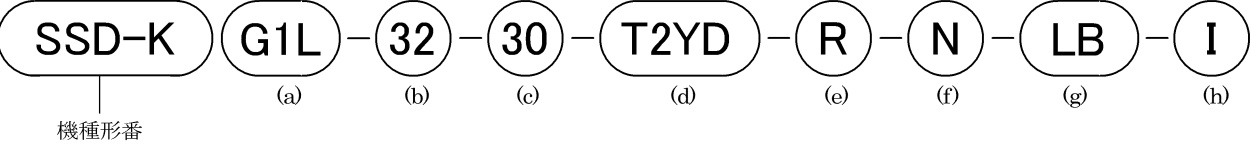
※リード線長さ	
無記号	1m (標準)
3	3m (オプション)
5	5m (オプション)

(2) 複動・高荷重・コイルスクレーパ形:G1, スパッタ付着防止形:G4

● スイッチなし



● スイッチ付き



(a) 保護構造レベル		(b) チューブ内径 (mm)		(c) ストローク (mm)	
G1	コイルスクレーパ形	25	φ 25	φ 25～φ 50	φ 63～φ 100
G4	スパッタ付着防止形	32	φ 32	5	5
G1L	コイルスクレーパ形・スイッチ付	40	φ 40	10	10
G4L	スパッタ付着防止形・スイッチ付	50	φ 50	15	20
		63	φ 63	20	30
		80	φ 80	25	40
		100	φ 100	30	50
				40	
				50	

(d) スイッチ形番				(e) スイッチ数		(f) オプション	
リード線 ストレートタイプ	接点	表示	リード線	R	ロッド側1個付	無記号	ロッド先端めねじ
				H	ヘッド側1個付	N	ロッド先端おねじ
T2YD※	無接点	強磁界用スイッチ	2線	D 2個付			
T2YDT※							

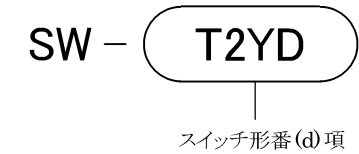
※印はリード線の長さを表します。

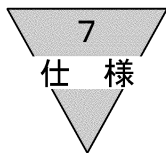
(g) 支持金具		(h) 付属品(ロッド先端おねじ“N”を選定した場合に可)	
LB	軸方向フート	I	一山ナックル
LB2	軸方向フート(小型タイプ)	I2	一山ナックル(小型タイプ)
CB	二山クレビス(ピンと止め輪添付)	Y	二山ナックル(ピンと止め輪添付)
CB2	二山クレビス(小型タイプ) (ピンと止め輪添付)	Y2	二山ナックル(小型タイプ) (ピンと止め輪添付)
FA	ロッド側フランジ形		
FB	ヘッド側フランジ形		

※リード線長さ	
無記号	1m (標準)
3	3m (オプション)
5	5m (オプション)

6. 2 部品形番表示方法

● スイッチ本体のみ





7. 製品仕様

7.1 製品仕様

形番	SSD-G1・G4							
項目	SSD-G1L・G4L (スイッチ付)							
チューブ内径	mm	φ 25	φ 32	φ 40	φ 50	φ 63	φ 80	φ 100
作動方式		複動形						
使用流体		圧縮空気						
最高使用圧力	MPa	1.0						
最低使用圧力	MPa	0.15				0.1		
耐圧力	MPa	1.6						
周囲温度	℃	-10～60 (但し、凍結なきこと)						
接続口径		M5×0.8	Rc1/8		Rc1/4		Rc3/8	
ストローク許容差	mm	+1.0 0						
使用ピストン速度	mm/s	50～500				50～300		
クッション		なし						
給油		不要 (給油時はタービン油 ISOVG32 を使用)						
許容吸収エネルギー	J	0.021	0.025	0.092	0.1	0.12	0.27	0.56

形番	SSD-KG1・KG4							
項目	SSD-KG1L・KG4L (スイッチ付)							
チューブ内径	mm	φ 25	φ 32	φ 40	φ 50	φ 63	φ 80	φ 100
作動方式	複動・高荷重形							
使用流体	圧縮空気							
最高使用圧力	MPa	1.0						
最低使用圧力	MPa	0.15				0.1		
耐圧力	MPa	1.6						
周囲温度	℃	-10～60 (但し、凍結なきこと)						
接続口径		M5×0.8	Rc1/8		Rc1/4		Rc3/8	
ストローク許容差	mm	+2.0 0						
使用ピストン速度	mm/s	50～500				50～300		
クッション	ゴムクッション							
給油	不要 (給油時はタービン油 ISOVG32 を使用)							
許容吸収エネルギー	J	0.157	0.402	0.628	0.98	1.56	2.51	3.92

7. 2 スイッチ仕様

種類・形番	無接点 2 線式
項目	T2YD(T)
用途	プログラマブルコントローラ専用
電源電圧	—
負荷電圧	DC24V±10%
負荷電流	5～20mA
内部降下電圧	6V 以下
表示灯	赤色／緑色 LED (ON 時点灯)
漏れ電流	1mA 以下
リード線長さ (注 1)	標準 1m (耐油性ビニールキャプタイヤコード φ 6、0.5mm ² ×2 芯)
耐衝撃	980m/s ²
絶縁抵抗	DC500V メガーにて、100MΩ 以上
耐電圧	AC1000V 1 分間印加にて、異常なきこと
動作範囲	3～8mm(φ 12～φ 32)、5～10mm(φ 40～φ 100)
応差	1.5mm 以下
周囲温度	-10～60℃
保存温度	-20～80℃
保護構造	IEC 規格 IP67、JIS C 0920 (防浸形)、耐油

注 1: リード線は、オプションとして他に、3m、5m を用意しております。